

14 学 校 保 健

子どもの豊かな気づきや感じ方を育む学校保健 —学級担任と連携した性教育の実践を通して—

吉 野 泰 子

1 はじめに

性教育という言葉は現在ではごく自然に使われている。しかし「性教育とは何か」とあらためて議論しようとする、教師が共通イメージをもって話すことは難しい。何しろ指導者である私たち自身が学んで育っていないのだから、なかなか意見がまとまりにくいのはむしろ当然というべきかもしれない。

平成四年からは5年生理科と保健に性に関する学習内容が入り、またエイズに関する問題などにかかわって、社会的にも性教育に対する関心が高まっている。そのような中、本校においても、これまでそれぞれの立場で実践を重ねてきている。本年度からは全学年の児童の発達段階を見通して推進計画をたてている。学校教育の各分野で性に関する指導をどのように位置づけるか共通認識を持ち性教育の取り組みをはじめたところである。

2 子どもたちの豊かな気づきや感じ方を育む性教育のあり方

子どもたちが性に関心を抱くのは当たり前で自然なことである。問題なのは子どもを取り巻く現代社会が、ゆがんだ性情報であふれていること、またそれに反して子どもたちが本当に知りたいことに応える情報があまりにも少ないということである。そこで家庭や学校での大人の果たす役割が期待される場所であり、そのために子どもたちの豊かな気づきや感じ方を育む性教育が必要だと考える。ここで性教育において「豊かな気づきや感じ方を育む」ためのいくつかの条件をあげてみる。

- (1) 取り扱う題材は子どもたちの豊かな感受性をゆさぶるものとする。
- (2) 性を教材化するとき、指導者は「性」は人間発達において不可欠との認識をもつ。
- (3) 子どもたち一人一人が人間として心動かされるような場を設定する。
- (4) より確かな選択と自己決定ができるように事実を正しく学ぶこととし、価値観の押しつけにならない題材を選ぶ。

以上の条件をふまえて、子どもたち一人一人の状態をよく理解している学級担任とともに学習する方法が望ましいと考える。

3 本校の性教育についての考え

本校の性教育の目標は、以下の3点である。

- (1) 性に関する科学的認識を持ち、いのちのすばらしさ、大切さに気づく。
- (2) 男女相互の思いやり（男女共生）と協力の態度を育てる。
- (3) 性情報を正しく判断する力を育て、自分の生き方を考える。

これは本校教官が性教育に取り組む上で、学年としてあるいは学級として何を学習する必要があるのかを考えていく際の基本的事項としている。

① 障害児学級

低学年においては毎日の学校生活の中で自分の体を意識させる、成長とともに中学年にはからだの働きを理解し、高学年になるとからだの成長を理解することをそれぞれ目標としている。このように障害児学級担任は日々の生活の中で一人一人の発達に応じた適切な指導や支援を行っている。推進計画として以下の表に示すとおりである。

「わたしのからだ」の取り組みについて

指導のねらい

- 1 自分の体についての意識をもたせる。
- 2 成長にともなう体の変化を受け入れることができるようにさせる。
- 3 清潔・身だしなみなどの身辺処理の技能や社会的マナーを身につけさせる。

指導の内容

| | | | |
|---------|-----------|---------|---|
| 一・二年生対象 | 自分の体を意識する | 自分の体 | 自分の体の部位（足、手、頭、顔…）やその動きを意識する。 |
| | | 男の子・女の子 | 自分が男の子・女の子であるという意識を持つ。 |
| | | 清潔 | トイレでの処理の仕方、手洗い仕方などが分かる。（方法、順序） |
| | | マナー | 人前で裸にならないようにする。 |
| 三・四年 | 体の働きを理解する | 自分の体 | 体のしくみや働きが意識できる。（眼で見る、耳で聞く…）大切な働きをすることが分かる。 |
| | | 男の子・女の子 | 体のつくりの違いがわかる。 |
| | | 清潔 | 大切な働きをする体という理解のもとに、体の清潔に気を付けることができる。 |
| | | マナー | 身だしなみやふるまいに気を付けることができる。大切な体という理解のもとに、人前で裸にならないようにする。男女分かれた着替えをする。 |
| 五・六年 | 体の成長を理解する | 男の子・女の子 | 男女の体がどのように成長していくかを理解することができる。 |
| | | 自分の体 | 自分の体の成長を受け入れることができる。 |
| | | 清潔 | 生理など体の成長に伴った身辺の処理ができる。 |
| | | マナー | 体の成長の意識をもって身だしなみやふるまいに気を付けることができる。 |

② 単式・複式学級

単式・複式学級においては各教科・領域との関連が大きく、国語科、生活科、理科、家庭科、体育科、道徳、特別活動においても性教育と関連して意識すべき単元が多く存在する。そのため各学年あるいは学校全体で、年度当初に各教科において性教育と関わる教科および単元を確認する必要がある。実際、性教育は特別活動で行う場合が多い。特別活動における性教育の実践内容例は以下のとおりである。

| | 目 標 | 実 践 内 容 例 |
|----|---|---|
| 1年 | いのちのすばらしさを知り、健康に生活できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活実態の把握、生活実態調査 ・知らない人に誘われそうになったら ・ひとのからだ ・おなかの中のあかちゃん ・清潔な生活 |
| 2年 | 男女のからだの違いや生命誕生のあらましを知る。 一人一人の良さに気づき自他を大切にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・男女のからだのちがいがい ・家族の愛情、命の尊さ ・友達の気持ちをを知る |
| 3年 | 体の成長に目を向けて性に関する科学的認識を持ち、男女が互いに認め合い協力し合うことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を知る ・男女の発育の違い ・一人一人の心や行動の違い |
| 4年 | 性を科学的認識を持って理解し、いのちを大切にする心情や友達に対する思いやりを育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生命誕生の仕組み ・友達に対する思いやり ・性情報の選択 |
| 5年 | 大人のからだへと変化していくことを自然にとらえ、個人差、性差があることも理解する。 いのちを大切にする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・第二性徴 ・心の成長 ・男女の協力（海の学習にむけて） ・家族の役割 |
| 6年 | 男女相互の思いやりと協力の大切さを知り行動できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・男女の協力（山の学習、修学旅行） ・H I V感染症 |

4 指導事例 第3学年 あかちゃんが生まれる

(1) 題材について

三年生にもなるとお母さんからあかちゃんが生まれることはだれもが知っている。しかし、自分が母親のおなかの中にいた時のことやどうやって生まれてきたのか覚えている人はいない。そこであかちゃんが生まれるまでにいったいお母さんの体で何が起きるのか学習し、自分の存在を考え、またあかちゃんが生まれるまでや生まれた時の家族の気持ちを知る機会としたい。

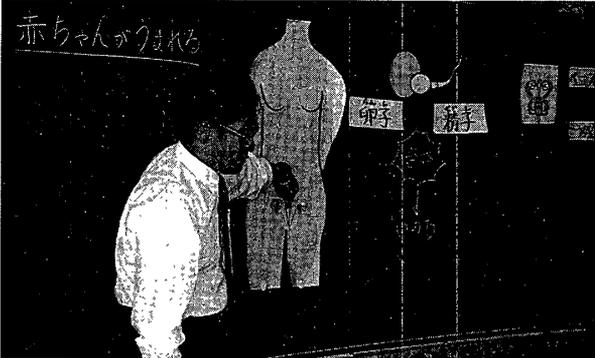
(2) 児童の実態

2学年の時児童たちは、おへそのしくみ、おなかの中のあかちゃんといった内容の性教育を受けている。今回の指導の前にすでに何人かの児童は「せいし」「らんし」ということばをおぼえている。

(3) 授業のねらい

- ・あかちゃんが生まれてくるまでの様子を理解させる。
- ・あかちゃん誕生のよろこび、すばらしさを感じさせる。

(4) 授業の流れ（本時は10月30日保護者参観日の授業である）

| 学 習 過 程 | 指 導 の 実 際 |
|---|--|
| 1 本時の学習は何か想像する 2 何の音か聴き想像する。 3 「あかちゃんが生まれる」を学習するという見通しをもつ 4 あかちゃんのいのちはじまり せいし（精子） らんし（卵子） 5 あかちゃんが育つところが子宮であることを知る。 | 1 担任が「○○○○○が○○○○○」と黒板に提示する。 2 妊娠6ヵ月の胎児の心音の録音テープを30秒間聴く。 3 黒板に「あかちゃんが生まれる」と書く。 4 男女の性生殖器の外見図を提示し、ペアシートを使い精子と卵子が合体する場面を見せる。精子、卵子の形・大きさ・どこにあるものかを説明する。 5 黒板に提示した図で子宮のある場所を確認する。 |
|  | |
| 6 どのくらいの期間、子宮内で大きくなり赤ちゃんが生まれるのか想像する。 | 6 本日10月30日から計算し、実は来年の8月7日ぐらいまでお母さんの子宮 |

280日ぐらいかかる

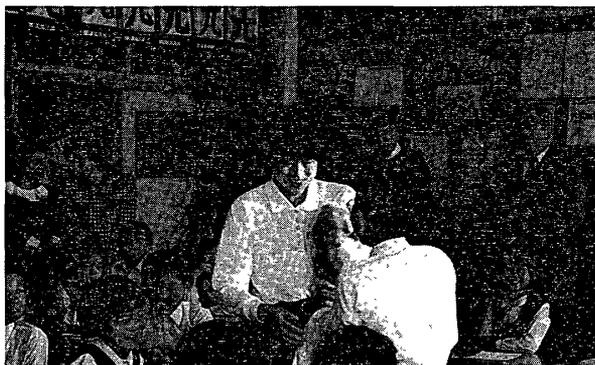
- 7 生まれたときのあかちゃんの大きさや重さを想像する。



- 8 重さと大きさを実感する。



- 9 あかちゃんがおなかの中で育つとき、生まれるときの様子を知る。



- 10 出産直後の母親、あかちゃんの実際の様子を視聴する。

- 11 まとめ感想を書く。

の中で育っていること。また偶然にも担任の誕生日であることを説明する。

- 8 養護教諭があかちゃんの「人形」を抱いて登場する。子どもたちに抱かせる。(重さ3000g, 身長50cmのもの)

- 9 養護教諭が妊娠出産時の気持ちを話す。また手術で生まれるあかちゃんがいることも話す。担任が男子も女子も大切なものをからだの中にもっていることを確認。けんかの時、おなかを蹴ったりすることは大変危険なことに気づかせる。

- 10 VTRを3分間視聴しながら、養護教諭がVTRに映った母親の表情やあかちゃんを見つめるまなざし、お風呂に入っている様子などを解説する。

- 11 担任が、あかちゃん、家族に見守られて誕生したことを話す。感想を記述するよう指示する。

5 実践の結果

児童に学習過程11で感想を記述させた。

① 今日の学習でわかったこと

- ・精子と卵子が合体してあかちゃんのいのちができること。：男子5人，女子3人
- ・せいしとらんしがこめつぶよりちいさいこと。：男子1人，女子1人
- ・あかちゃんがどういうふうに出てくるのか。：男子1人，女子1人
- ・ぼくは，やく10ヵ月でうまれると思いました。でも280日でうまれるとは，はじめてしりました。長い時間かかるんだなあとおもいます。：男子2人，女子2人
- ・あかちゃんは子宮からでてくるということ，長い時間かかること。あかちゃんは頭が10センチぐらいになるので子宮が開いていくということ。：男子1人，女子3人
- ・子宮がどんなにだいじなところか。：女子1人
- ・むずかしいことばがいっぱいあったけど生まれる前とかがよくわかった。：女子1人
- ・男の人のあそこはあかちゃんが生まれるのにだいじなところだということ：男子1人
- ・生まれたらどれぐらいの大きさか。：男子1人
- ・あかちゃんのはじまりがせいしみたいじゃないとおもっていた。：男子1人
- ・ビデオをみてあかちゃんをうんだらとてもうれしいこと。：女子1人
- ・ほとんど手術をして生まれるあかちゃんがたくさんいると思っていたけれど，おかあさんがうんでくれるあかちゃんもいること。：女子1人

② もっとくわしく知りたいこと

- ・せいしがどれくらいいるのか。：男子1人，女子2人
- ・精子と卵子の中を知りたい。：男子1人，女子1人
- ・精子と卵子はどうやって合体するのか，いつ精子はどこで女の人の子宮に入るのか：男子1人，女子1人
- ・合体しないとあかちゃんは生まれぬのか。：男子1人
- ・あかちゃんのはじまりのあとのことをもっとくわしく。：女子1人
- ・動物のあかちゃんはどうやって生まれるの。：女子3人
- ・だれのあかちゃんなのか（ビデオ）：男子1人，女子1人
- ・あかちゃんが出てくる所が見たい。：男子1人
- ・あかちゃんはいつごろごはんを食べますか。男子1人
- ・あかちゃんの体のこと。：男子1人
- ・へその緒とかいつ生えるのか：男子1人
- ・約280日であかちゃんが生まれる間のこと：女子1人
- ・あかちゃんは逆さまになって水の中に入っているが息はどうしているのか。：男子1人
- ・生まれたあとのおかあさんのおなかはいたくないのか。：女子1人
- ・あかちゃんは足から出るとき手術をしないといけないのか。：男子1人
- ・生まれたときの実際の大きさをもっと詳しく知りたい。：女子1人
- ・生まれたときのおかあさんの表情が知りたい：男子1人

③ 今日の学習の感想

- ・生まれるまでに280日もかかる。：男子2人，女子3人
- ・いろんなことがわかってよかった。：男子5人，女子2人
- ・むずかしい言葉もあったけど何となく分かりました。：女子1人
- ・妹も同じだったのを思いだした。弟のことを思いだした。：男子1人，女子1人
- ・ペニス，こうがん，子宮はじめて知った。：男子1人，女子1人

- ・精子と卵子が合体してあかちゃんの命ができる。：女子1人
- ・小さいまごがあかちゃんになるなんてふしぎ：男子1人
- ・おへそから出てくると思っていたのに子宮から出てきた。：女子1人
- ・あかちゃんがさかさまにでてくるとは思わなかった。：男子1人
- ・ぼくは最初なかなと思っていたら、あかちゃんのことだった。：男子1人
- ・あかちゃんが生まれてくるときお母さんはたいへんだ。：女子1人
- ・生まれたあとうれしそうなかおだったのでいいなと思った。：女子1人
- ・いえでうまれるひとはどうするのかな。うまれるとき頭はなぜ重い。：女子1人
- ・あかちゃんとおとうさんとあかちゃんはつながりがある。：女子1人
- ・あかちゃんはおかあさんのそばにいとあんしんするんだな。：女子1人
- ・ぼくの抱き方と先生の抱き方はちがう。：男子1人
- ・おふろにはいるとなきそうになったのでおふろはきれいなのかな。：男子1人

6 考察

本時の学習ではあかちゃんが生まれるまでの様子を知り、あかちゃん誕生のよろこび、すばらしさを感じさせるのをねらった。感想には「おへそから生まれると思っていたのに子宮から出てきた。」「3000gの重さをもってずっと育てるのはたいへんだ。」「生まれたあとうれしそうなかおだったのでいいなと思った。」と記述があった。これらの記述から、今回の学習で視覚・重量感・聴覚など子どもたちの様々な感覚をとおしてあかちゃんやお母さんのことがいろいろ分かり、誕生のよろこびを共感できたということことが分かる。

また児童の感想に気づきや、疑問がたくさん出てきたことは、心音、あかちゃんの大きさや重さの実感、あかちゃんとお母さんのVTRなどが豊かな感性や気づきを育むのに有効な教材であったことが確認できた。

《学級担任との連携》

- ・学級担任の「生まれたときのあかちゃんの大きさは？」という発問からバトンタッチして養護教諭があかちゃんの人形を抱いて登場したことで児童にインパクトをを与えることができた。そして養護教諭が妊娠出産経験を話したことであかちゃんの誕生の様子が信憑性のあるものとなり、感性をゆさぶることとなった。このことは感想にあかちゃんについての記述をしている児童が31人中15人もいたことから分かる。
- ・2年時にあかちゃんについて基礎的なことを学習していることで、本年度のより詳しい内容のものが取り組めた。
- ・学級担任とチームティーチングすることで養護教諭は、指導内容や学級の実態を把握でき、また担任から児童理解や指導方法を学ぶことができた³⁾。しかし、担任と養護教諭の両方で学習内容や役割分担を確認したり、教材研究をするための時間の確保が限られた時間のなかでは十分にできなかった。そして共通理解を得るための時間を確保することに多くの困難さを感じた。今後は、十分な時間が確保できるよう工夫するとともに、さらに担任と養護教諭がお互いの特性を生かした実践を積み重ねていくことによって、「もっと知りたい」という児童の気持ちに少しでも応えていきたい。

《引用文献》

- 1) 藤田和也, 丸岡玲子, 他 (1994) : 33の授業展開例で示す, 小学校性教育の全貌, (株)東山書房, 3
- 2) 山本直英編集代表, 安達倭雅子・本巻編集 (1994) : 人間の生涯と性1子どもの性, (株)大月書店, 117
- 3) 木下洋子 (1990, 8月6日~7日) : 性教育を推進する養護教諭としての役割, 全国国立大学附属学校連盟, 養護部会研究協議会小学校部会